

言語技術（スキル）の習得

——「確かめよう」

●本冊『中学生の国語』には、新たに「確かめよう」を設けました。「本編」での学習を下支えする言語活動の場を具体的に示しました。
 ●「学習のはじめ」に、または「学習のまとめ」に確かめることで、言語能力を確実に身につけます。

例 一年「書くこと」

11



書いた文章を見直すには

小林さんは、自分の書いた文章を見直すことが難しいと感じていました。

どんな点に注意して見直したらいいのかな？



まず、漢字や言葉遣いにまちがいが
ないか、チェックする必要がある
ね。

他にもっといい言葉がないかを考
えてみるのも大切だね。

主語と述語の関係や、文の続き方
段落の分け方についても、見直す
といいのでは。



書いた文章を見直すには 264

学習指導要領の指導事項に即して、領域ごとに整理しました。重点化・焦点化した学習活動を通して、言語スキルの着実な習得を可能にします。

「確かめよう」「目次（一年の場合）」

「話すこと・聞くこと」

- 1 話題を決めるには
- 2 わかりやすく話すには
- 3 伝わるように話すには
- 4 聞き手を意識して話すには
- 5 聞いた内容を確かめるには
- 6 話題にそって話し合うには

「書くこと」

- 7 書く内容を決めるには
- 8 書く材料を整理するには
- 9 段落の役割を考えて構成するには
- 10 根拠を明確にして書くには
- 11 書いた文章を見直すには
- 12 書いた文章を交流するには

「読むこと（説明）」

- 13 語句の意味を知るには
- 14 中心となる内容を捉えるには
- 15 事実と意見とを読み分けるには
- 16 文章の内容をまとめるには
- 17 文章の特徴について考えるには
- 18 必要とする情報を集めるには

「読むこと（文学）」

- 19 語句の意味やイメージをつかむには
- 20 場面の展開を読み取るには
- 21 人物の描写をとおして内容を読み取るには
- 22 心情の変化を読み取るには
- 23 ものの見方や考え方を広げるには
- 24 情報を読み取り、理解を深めるには

私の夢は、世界の貧しい子どもたちを救いたい。そう考えた理由は、食べるものや水さえも満足になく、勉強ができないばかりか、小さいうちになくなってしまふ子どもたちが世界には多くいることを、テレビで知った。そのため今は、始めて会った人とも心が通じ合えるように、コミュニケーションの力を高めるために努力しています。例えば、いろいろな行事に積極的に参加し、協力して役目を果たしています。

小林さんが書いた文章

書いた文章を見直すには

- ① 表記や語句の使い方がまちがっていないか、確かめよう。
- ② 伝えたいことを読み手によりよく伝えるにはどうしたらよいか、考えよう。

確かめよう

★確かめてみよう★

上の文章の——の部分を書き直してみよう。また、二つの段落に分けてみよう。



265 書くこと

見開き2ページ単位で、わかりやすい構成です。一つ一つの教材を繰り返して学ぶことを想定しています。

振り返り